

共同礼拝

2023年4月16日(日) 午前10時30分
午後3時

司式 牧師 姜 匠米

前 奏

招 詞 詩編 19編2～5節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 78編1～8節 (旧913)

マタイによる福音書 13章24～43節
(新25)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 8

説 教 「世の終わりの知恵」

牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 228 (1, 2)

献 金

頌 栄 541

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

4月の祈り

主の十字架の死と復活によってもたらされた、罪からの救いに与っている恵みを再確認し、信仰にふさわしく、祈りと忍耐と希望を持って歩むことができるように。

戦火と天災によって困難と悲しみを負っている人々に、主のみ手が伸べられ、癒しと慰めが与えられるように。

教会と幼稚園の新年度の歩みが祝され、力づけられるように。

今日の祈り

主の復活の信仰を新たにし、主と共に生きる日々の恵みを数えることができるように。

愛する者を主にゆだね、なお悲しみにある人々に復活の命の希望と慰めが与えられるように。

新年度新たな生活を始めた一人一人に主の御守りと導きがあるように。

音声配信によって礼拝を守っている人々が、御言葉と祈りによる教会との交わりが保たれるように。

「世の終わりの知恵」 高橋和人

マタイによる福音書 13:24～43

主イエスは弟子たちと共に旅をされて、道すがら教えられ、そこに人々が集まり説教された。主イエスの説教には、そこにある情景がうかがえる。主イエスの説教の大きな部分を占めるのは天国をたとえによって語ることであった。たとえによらないでは語られなかった。それは歴史の秘密を含んでいる。

たとえで語られるとき、そこには目に映るような場面が現れる。天国は理屈によらず、場面として伝わって行く。しかし、たとえは考えなければならな

い。それだけに、様々な受け止めがなされる。麦畑は身近な素材。慣れ親しんだところ、そこに神と人とかかわる重大な秘密が現わされる。

麦畑に毒麦がまかれた。それは敵の仕業。僕たちが抜き集めようという、畑の主人は収穫まで待つように言う。

次からし種とパン種が語られる。どちらも大きく膨らむ天国の姿になる。

天国のたとえには教会の姿が重なる。教会は小さな種から始まった。そして、広まってきた。しかし、そこには毒麦が育っていることがたとえられる。毒麦は、外見はよく似ており、同じところに生え根が絡み合う。家畜が食べると害を及ぼすと言われる。厄介なものだ。僕たちは抜くことを提案する。主人は収穫の時の選別を命じる。

教会の成長にも毒麦が伴う。ルターは主が教会を立て、悪魔はチャペルを立てると言う。一緒に育ち、紛れる種。神がまかれたものではないものが入り込む。人の価値観によるものだ。その根は絡み合っている。自分自身もそうだ。教会に自分の測りを持ち込もうとする。

見える教会と見えない教会という教えがある。罪人の集いである現実の未熟な教会と見えない真の教会。区別されるが切り離せない。見える教会は見えない教会を目指し、見えない教会は見える教会なしに知られることはない。

弟子たちは主のみもとでたとえの説明を求める。弟子となり、主の言葉を求めるところに主が語ってくださる。礼拝の姿だ。主は世の終わりを教えられる。今の時の世の知恵、世の測りで教会は教会とはならない。御言葉に御心を求め、悔い改めて、立ち帰ることを知らねばならない。